

新しい年度を迎え、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。本年、四月より、曹洞宗静岡県第一宗務所青年会第十四期会長の任を拝受する事となり、ここに謹んで管内ご寺院様にご挨拶申し上げます。

さて、われわれ青年会の会員は四十歳までの若い青年僧侶から構成されており、本年度を迎えるにあたり、新入会員を含め六十余名の会員数ですが、その人数も年々減少している所であり、



曹洞宗静岡県第一宗務所青年会
第14期会長
松本 裕

緩歩

かんぽ
—第14号—

【題字】
洞慶院 丹羽鐵山 老師

本山に上山する修行僧も十年前の半分程の人数となっております。当会におきましても会員数のさらなる減少は避けては通れない所です。あります。「和敬」という言葉がありますが、互いを尊重し和合の心で持つて会員同士の絆をさらに強固なものとしていきたいと思っています。同安居との絆というものは一生ものであります。それは、やはり修行時代に、共に大変な時を過ごし自分の事を優先してしまいそうな時にも、お互いが支えあつてきたからこそ生まれる絆であると思います。その為にも、諸活動に対して積極的に参加し、多くの会員に参加を促し、各地区の垣根を越えた活動と親睦をさらに深めていきたいと思っています。当会の歴史を紡いでこられましたOB諸老師の教えを大切に

していく所存でございます。最後にありますが、管内ご寺院様並びにOB諸老師の皆様におかれましては、日頃より青年会活動にご指導ご協力を賜り誠にありが

とうございます。これからも、変わらぬご法愛を賜りますようお願い申し上げます。二年前よりお願いいたします。



賛助御礼

・12	瑞光寺様
・17	元長寺様
・234	洞慶院様
・361	長光寺様
・376	曹源寺様
・5127	楞嚴院様
・5138	龍興寺様
・6165	光明寺様
・7208	延命寺様
・8388	林叟院様
・8390	梅林院様
・10463	栄昌寺様
・10464	正泉寺様
・11497	香橘寺様
・11500	洞源寺様
・11501	養徳寺様
・1426	宝珠院様
・1595	久應院様
・1597	法幢寺様
・15100	東光寺様

青年会の活動に多大なるご支援ありがとうございました。

青年会一同九拜

前会長

退任

挨拶



第13期会長
西村 隆昌

平成二十九年度より会長の任にあたり、早いもので二年の歳月が過ぎました。

この間、OB諸老師方から受け継がれてきた青年僧の姿、「想いをすぐに実行に移す」事ができる体制を保ち、研修や親睦を通して研鑽に励んで参りました。

おかげさまで今期も充実した活動を行いました事は、ひとえに管内ご寺院様のご法愛の賜と心より感謝申し上げます。併せて今後当会へのより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。合掌

卒会者紹介

- ・一教区 長栄寺 宮城健城師
 - ・十四教区 松雲寺 満目大善師
- 長い間お疲れ様でした。これからもご指導よろしくお願いいたします。

新入会員紹介

- ・二教区 正信院 浅井英章師
 - ・六教区 三明寺 大嶽泰明師
 - ・七教区 永明寺 加藤孝洋師
 - ・八教区 全珠院 小池幸共師
 - ・十三教区 大永寺 竹田龍永師
 - ・十四教区 大雲寺 新村峻啓師
- よろしくお願いいたします。これからの活躍を期待します。

編集後記

何事にも挑戦の二年間でした。一般向け広報誌「かんぽ」の発行やウェブ緩歩の一新など、多くの困難も有りましたが、委員一人ひとりの知恵を集約し、一步一步前向きに活動をしてまいりました。委員全体で作る広報活動は、同行同修の心を養うだけでなく、現代社会に生きる青年僧としての研鑽を積む貴重な機会となりました。今後はこの経験を活かし、緩歩のごとく更に一步一步前進していきたいと思っています。任期の間、支えてくださった皆様心より感謝申し上げます。

広報委員長 加藤 佳秀

編集委員

- | | | |
|-------|--------|-------|
| ・加藤佳秀 | ・加藤寛隆 | ・安田伴秀 |
| ・増田美源 | ・長尾大乘 | ・磯田和明 |
| ・岩佐剛昇 | ・三浦信了 | ・松本一善 |
| ・熊山昭徳 | ・杉村正弘 | ・青木隆徳 |
| ・前島勇哉 | ・杉山瑛典 | ・平尾隆朋 |
| ・青野仁映 | ・小金山法純 | ・伊村千尋 |
| ・有田光佑 | ・菊地英寛 | ・山田勇輝 |



二年間ありがとうございました。

【発行】	曹洞宗 静岡県第一宗務所青年会
【事務局】	富士市平垣本町十一・四七 金正寺内
【発行責任者】	松本 裕
【編集】	曹洞宗静岡県第一宗務所 青年会広報委員会



新執行部紹介

これから二年間

よろしくお願いいたします



副会長
磯田和明
いそ だ わ みよう

松本会長を補佐する事は勿論、一会員としても、当会の更なる躍進のために努めます。



副会長
青島永紘
あお しま よう こう

会長を補佐し、青年会を盛り上げていきます。宜しくお願います。



監事
長尾大乗
なが お だいじよう

会の運営が円滑にいくように努めます。宜しくお願いたします。



監事
丹羽崇元
に わ そう げん

多様化する時代の中で最適解を見出し、当会の一助になればと存じます。



東部理事
山田高之
やま だ こう し

理事として会員皆様のために、より良い会となるよう努めて参ります。



東部理事
齋賀宝道
さい が ほう どう

微力ではありますが、精進して一生懸命努めさせていただきます。



中部理事
児玉正見
こ だま しょう けん

理事として精一杯努めさせていただきます。



中部理事
平尾隆朋
ひら お りゅう ほう

会員の声をよく聴き、理事として、青年会がより良いものになるよう努力して参ります。



西部理事
青木秀晃
あお き しゅう こう

いただいた任を全うし、会のために尽力いたします。



西部理事
前島勇哉
まえ じま ゆう さい

「敢為邁往」青年会の発展のために尽くして参ります。



事務局長
柿本文展
かき もと じょう てん

松本会長を支え、事務局一丸となり任に当たります。宜しくお願いたします。



会計
岩佐剛昇
いわ さ ごう しょう

誠に微力ではございますが、会の運営が円滑に進むよう努めて参ります。



教化研修委員長
稲葉俊隆
いな ば しゅん りゅう

会員全員が積極的に参加できる委員会活動を展開していきます。



ボランティア委員長
浅井康博
あさ い こう かく

会員の皆様に少しでもボランティアに興味を持っていただけるように頑張ります。



広報委員長
伊藤晋英
い どう しん えい

老古佛宣わく「任に適つては他に譲りたかつた」最新のお勤め、頑張ります！



庶務
山本俊介
やま もと しゅん かい

与えられた任を全うできるように精進いたします。



書記
山田勇輝
やま だ ゆう き

前任の方のように会議を解りやすく記録出来るよう精進いたします。



書記
菊地英覚
きく ち えい かく

執行部が円滑に事を運ぶことができますよう、一生懸命努めます。

平成三十年度活動報告

■花配り

四月八日の花まつりにちなみ、東部・中部・西部各地区にてお花を配布しました。また、焼津・藤枝の両駅では花御堂を設置し、街行く皆さんに手を合わせていただきました。

■第二十六回定例総会

四月九日、中島屋グランドホテルにおいて第二十六回定例総会を行い、各議案が慎重審議され全て承認されました。

また、定例総会に参加された卒会者一人一人より現会員への今後の励ましの言葉をいただきました。

■第七十六回 宗務所主催春季スポーツ親睦会

六月十三日、エスパルスドリームフィールド駿東においてフットサルが行われ、OB・青年会員諸兄がスポーツを通じて親睦を深めました。

■平成三十年七月豪雨災害 義援募金活動

六月下旬より七月上旬に西日本を中心として発生した集中豪雨災害に対し、東部・中部・西部各地区にて義援募金活動を行いました。

募金と呼び掛けさせていただいたところ、多くの善意が集まりました。義援金(一〇六五、〇三二円)は、社会福祉法人中央共同募金会に寄付いたしました。

■ボランティア第一回研修会

八月三十一日、静岡県地震防災センターにて研修会を行いました。

参加した会員一人一人が地震災害に対する対策や震災後に取るべき行動を学びました。

■北海道胆振東部地震 義援募金活動

九月六日に発生した北海道胆振東部地震災害に対して九月各日、各地区にて義援募金活動を行いました。一日も早い復興を祈念し、会員が街頭に立って街行く人々に募金と呼びかけました。

集まった義援金(三〇〇、二九円)は、社会福祉法人北海道共同募金会に寄付いたしました。

■平和祈念托鉢

十一月十一日の世界平和記念日にちなみ、平和祈念托鉢を行いました。参加した青年会員がお経・御詠歌を唱えながら、平和への願いを呼びかけました。

集まった募金(二五、四一九円)はSVAアジア子ども募金に寄付いたしました。

■臨時総会

十一月二十一日、養源院様を会場として臨時総会を行い、第十四期会長・副会長の承認などの各議案が慎重審議され、全て承認されました。

■第七十七回 宗務所主催秋季スポーツ親睦会

十一月二十九日、由比体育館において

でバルーンバレーボールが行われ、OB・青年会員諸兄がスポーツを通じて親睦を深めました。

■教化研修会

十二月六日、宗乗寺様を会場として東海管区センター布教師の森田勝准老師をお招きし、三分間法話研修会を行いました。

■歳末助け合い托鉢

東部・中部・西部各地区において歳末助け合い托鉢を行いました。

東部地区は十二月二日に沼津駅周辺にて行い、浄財(一〇、六七〇円)を沼津市社会福祉協議会に寄付いたしました。

中部地区は十二月九日に青葉公園にて行い、浄財(五二、九七六円)をSBS愛の都市訪問に寄付いたしました。

西部地区は十二月三日に焼津駅周辺・島田駅周辺にて行い、浄財(二四、〇八二円)を焼津市・島田市の各社会福祉協議会に寄付いたしました。

■安居予定者研修会

十二月二十九日、一月三十一日の両日、養源院様を会場として安居予定者研修会を行いました。これから上山を志す青年宗侶の負担を少しでも軽減すべく、青年会員が指導しました。

■ボランティア第二回研修会

二月十四日、霊山寺様を会場として駿東伊豆消防署本部応急手当指導員をお招きし、普通救命講習Ⅰ(心肺蘇生法及びAED講習会)を行いました。



北海道胆振東部地震義援募金活動



平成30年7月豪雨災害義援募金活動



花配り



教化研修会



ボランティア第1回研修会



第26回 定例総会